

2012.2.1

東北メディカル・メガバンク機構の発足

2月1日に東北大学は、未来型医療を築いて震災復興に取り組む新組織、東北メディカル・メガバンク機構を発足。被災地の地域医療再建と健康支援に取り組みながら、医療情報とゲノム情報を複合させたバイオバンクを構築します。それらの情報と解析結果に基づく新しい医療を創出し、被災地への医療人の求心力向上、産学連携の促進、関連分野の雇用創出、そして被災地区の医療復興の実現を目指します。



2012.3.28

超小型地球観測衛星「雷神2」の小型副衛星採択

3月28日、宇宙航空研究開発機構(JAXA)が、2013年度打ち上げ予定のALOS-2(陸域観測技術衛星2号)に搭載する4副衛星を発表しました。その一つに、東北大学と北海道大学が共同開発した「雷神2(RISING-2)」が採択されました。これは、高性能カメラによる様々な波長の光で地表や大気現象を撮影するなど、小型衛星による科学観測方法に新たな道を拓くことを主な目的としています。



2012.4.13

スマート・エイジング・カレッジ開講式の開催

4月13日に、本学加齢医学研究所スマート・エイジング国際共同研究センターにおいて、2012年度スマート・エイジング・カレッジ開講式を行いました。この事業は、公募した地域の皆様約100名を受講生とし、1年間の講義コースを実施します。「スマート・エイジング」をテーマに、地域の方々と東北大学の若手研究者や大学院生が共に学びあう場を作り出すことで、生きた研究環境の実現に取り組んでいきます。



NEWS - BOX

東北大学の動き

2012.4.16

ユヴァスキュラ大学(フィンランド)と学術交流協定を締結

本学加齢医学研究所は、ユヴァスキュラ大学と学術交流協定を締結。2012年度より、認知加齢、認知刺激、運動生活介入、脳機能マッピングに関する共同研究を展開する予定です。ユヴァスキュラ大学は、自然科学、人間科学領域を中心とした7学部6研究所を擁し、教員約1400名、学生約1万5千名を数えます。フィンランド国立大学としては、ヘルシンキ大学に次ぐ2位にランクされる総合大学です。



2012.4.20

ド・モンフォート大学(英国)のシェラード学長が来訪

4月20日、ド・モンフォート大学(英国)のドミニク・シェラード学長一行が来学。両大学間の心理学を含む災害科学分野における協力の在り方について、意見交換を行いました。夕刻には、2011年9月にド・モンフォート大学に招へいされた本学学生が参加する懇談会が開催されました。25日には、英国大使公邸において、両大学の今後の連携推進を目的とする覚書が、シェラード学長と里見進総長の間で締結されました。



2012.6.6

スレッシュ 米国NSF長官が来訪

6月6日、スプラ・スレッシュNSF(National Science Foundation)長官が来学しました。里見進総長と懇談し、災害科学分野における学際的な研究の推進などについて意見交換がなされました。また、本学AIMR(原子分子材料科学高等研究機構)の視察後、本学の災害科学国際研究所を訪れて、ロボット(Quince)のデモンストレーションを視察し関係教員と懇談。さらに名取市閑上地区の被災地を視察しました。

